

令和2年8月1日（土）

ポッチャ・イベント開催・実施時の感染防止策ガイドライン（チェックリスト）

群馬県ポッチャ協会

新型コロナウイルス感染防止の観点から、以下のとおりチェックリストとして対応策のガイドラインとする。

なお、本ガイドライン（チェックリスト）はあくまで一般的な参考事項であり、各地域・イベントの特性や状況等を勘案して、感染拡大防止のための必要な取組を適宜盛り込んでいただくことをお願いいたします。

☆主催者として

>>>>> 全般的な事項

- 感染防止のため、「主催者が実施すべき事項」や「参加者が遵守すべき事項」をあらかじめ整理し、チェックリスト化したものを適切な場所（イベントの受付場所等）に掲示すること
- 各事項がきちんと遵守されているか会場内を定期的に巡回・確認すること
- 障がい者や高齢者など利用者の特性にも配慮すること
- 万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取扱いに十分注意しながら、参加当日に参加者より提出を求めた情報について、保存期間（少なくとも1月以上）を定めて保存しておくこと
- イベント後に参加者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合や、地域の生活圏において感染拡大の可能性が報告された場合の対応方針について、施設の立地する自治体の衛生部局とあらかじめ検討しておくこと

>>>>> イベント参加募集時の措置

- 参加者が以下の事項に該当する場合は、参加の見合わせを求めること（イベント当日に書面で確認を行う）
 - 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- マスクを持参すること（受付時や着替え時等のスポーツを行っていない際や会話をす
- る際にはマスクを必ず着用すること。）
- こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること
- 他の参加者、主催者スタッフ等との距離（できるだけ2mを目安に（最低1m））を確保すること（障がい者の誘導や介助を行う場合を除く）
- イベント中に大きな声で会話、応援等をしないこと
- 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと
- イベント終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること

イベント当日における準備・配慮等

>>>>> イベント当日の参加者への対応

- マスク等の準備
 - 参加者がマスクを準備しているか確認すること
 - 参加の受付、着替え、表彰式等の運動・スポーツを行っていない間については、マスクの着用を求めること（運動・スポーツ中のマスクの着用は参加者等の判断によるものとする）
- スポーツイベント参加前後の留意事項
 - イベントの前後のミーティングや懇親会等においても、三つの密を避けること
 - 会話時にマスクを着用するなどの感染対策に十分に配慮すること

>>>>> 受付時の対応

- 受付窓口で、手指消毒させること
- 受付時に、検温をすること
- 発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は入場しないように呼び掛けること（状況によっては、発熱者を体温計などで特定し入場を制限することも考える）
- 参加者から以下の情報の提出を求めること
 - 氏名、年齢、住所、連絡先（電話番号）※個人情報の取扱いに十分注意する
 - 利用当日の体温
 - 利用前2週間における以下の事項の有無
 - 平熱を超える発熱
 - 咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状
 - だるさ（倦怠（けんたい）感）、息苦しさ（呼吸困難）
 - 嗅覚や味覚の異常
 - 体が重く感じる、疲れやすい等
 - 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
 - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

>>>>> 主催者が準備すべき事項および参加者を含めての配慮事項

- トイレ・洗面所
 - トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）については、こまめに消毒すること
 - トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示すること
 - 手洗い場には石鹸（ポンプ型が望ましい）を用意すること
 - 「手洗いは30秒以上」等の掲示をすること

- 手洗い後に手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）を用意すること（参加者にマイタオルの持参を求めても良い。布タオルや手指を乾燥させる設備については使用しないようにすること）
- 手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒剤を用意すること

□更衣室、休憩・待機スペース

- 広さにはゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避けること（障がい者の介助を行う場合を除く）
- ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する参加者の数を制限する等の措置を講じること
- 複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、イス等）については、こまめに消毒すること
- 換気扇を常に回す、換気用の小窓をあける等、換気に配慮すること
- スタッフが使用する際は、入退室の前後に手洗いをすること

□飲食物の提供時

- 参加者が飲食物を手にする前に、手洗い、手指消毒を行うよう声を掛けること
- スポーツドリンク等の飲料については、ペットボトル・ビン・缶や使い捨ての紙コップで提供すること（ただし、ドーピング検査の対象となる者が参加するイベントでは、未開封の飲料を提供しなければならないこと）
- 果物等の食品については、参加者が同じトング等で大皿から取り分ける方式を避け、一人分を小皿に取り分けたものを参加者に提供するなど、工夫を行うこと
- 飲食物を取り扱うスタッフにはマスクを着用させること

□ゴミの廃棄

- 鼻水、唾液などが付いたごみは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用すること
- マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒すること

□観客の管理

- 観客も参加させる場合には、観客同士が密な状態とならないよう、必要に応じ、あらかじめ観客席の数を減らすなどの対応をとること
- 大声での声援を送らないことや会話を控えること
- マスクを着用すること等の留意事項を周知すること

□イベント会場

- 会場全体において、換気の悪い密閉空間とならないよう、十分な換気を行うこと
 - 換気設備を適切に運転すること
 - 定期的に窓を開け外気を取り入れる等の換気を行うこと

イベント受付場所

- 受付窓口には、手指消毒剤を設置すること
- 人と人が対面する場所は、アクリル板、透明ビニールカーテンなどで遮蔽すること
- 参加者が距離をおいて並べるように目印の設置等を行うこと
- 受付を行うスタッフには、マスクを着用させること
- インターネットやスマートフォンを使った電子的な受付の一層の普及を図り、受付場所での書面の記入や現金の授受等を避けるようにすること
- 当日の受付のほか、イベント前日の受付を行うなど当日の混雑を極力避けること

コールルームの受付場所

- 距離をおいて並べるように目印の設置等を行う
- 受付には、手指消毒剤を設置すること
- スタッフは、手指消毒をし、マスク・手袋を着用すること
- 選手・アシスタント・コーチはマスクを着用し、手指消毒をすること

コールルーム

- 待機場所は、対面にならないように配置し、隣同士が1 m以上離れるように設置すること
- 選手・アシスタント・コーチは、マスクを着用すること
- スタッフは、マスク・手袋を着用すること
- 競技前のミーティングでは、3つの密をさけること

競技会場への入退場

- 入退場は、並列で横の距離を十分にとるか、縦列の場合は前後の距離を十分にとるようにする
- 車いすや競技道具に触れなければならないスタッフは、手袋をして行うこと

競技会場

- コートフロアの消毒を競技開始前後に行うこと
- 競技会場に入る場合は、その都度靴底または車いすのタイヤ等について消毒を行うこと。
- スコアボード・審判道具・椅子等のコート備品のアルコール消毒を行うこと

その他

- 会場の状態により、必要な対応策に取り組むこと

☆参加者として

>>>>> 参加者が遵守すべき事項

- 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる（利用当日に書面で確認を行う）
 - 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
 - マスクを持参すること（参加受付時や着替え時等のスポーツを行っていない際や会話をする際にはマスクを着用すること）
 - ※参加者の状態によっては、フェイスシールド等マスクに代わる適切な飛沫防止対策をとること
 - こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること
 - 他の参加者、主催者スタッフ等との距離（できるだけ2mを目安に（最低1m））を確保すること（障がい者の誘導や介助を行う場合を除く）
 - イベント中に大きな声で会話、応援等をしないこと
 - 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと
 - イベント終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること
 - イベントの前後のミーティングや懇親会等においても、三つの密を避けること

>>>>> 参加者がポッチャを行う際の留意点

- 十分な距離の確保
- ポッチャをしていない間も含め、感染予防の観点から、周囲の人となるべく距離（※）を空けること（介助者や誘導者の必要な場合を除く）
 - （※）感染予防の観点からは、少なくとも2mの距離を空けることが適当である。
- 位置取り：前の人の呼気の影響を避けるため、可能であれば前後一直線に並ぶのではなく、並列あるいは斜め後方に位置取ること（競技中、投球しないチームはできる限り投球ボックスの後ろにいるようにする）
- タオルの共用はしないこと
- 飲食については、指定場所以外で行わず、周囲の人となるべく距離を取って対面を避け、会話は控えめにすること
- 飲みきれなかったスポーツドリンク等を指定場所以外（例えば走路上）に捨てないこと

<<参考資料>>

「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン（令和2年5月14日）
公益財団法人 日本スポーツ協会・公益財団法人 日本障がい者スポーツ協会